

令和4年2月19日

MFJ 21-52号

全日本選手権・MFJカップJP250クラス

参加者・関係者 各位

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会

MFJ 全日本ロードレース選手権・MFJカップ選手権
における新型コロナウイルス感染症防止対策への協力について

平素は、MFJ 事業活動に対し、並々ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
MFJ では、政府の感染防止に取り組む強い姿勢表明を重く受け止め、国の改正基本的対処方針・専門家会議提言・日本スポーツ協会発行の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考とし、2022年2月15日付『新型コロナウイルス感染防止に関わるお願い』の改訂版を当協会より発信致しました。

これを基に、感染防止の一環として2022年全日本選手権・MFJカップ・地方選手権の運営につき、以下の対応に取り組んでいきますのでご理解とご協力の程お願いします。

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策に係わるお願い（2月15日版）

https://mfj-websystem.jp/mfj/mfj_web/organizer/download/pdf/cov/organizer_09.pdf

1. 感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項【ガイドライン】

選手、チーム関係者はMFJの定める「感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項」並びに大会ごとに主催者が定める遵守事項を熟読のうえ、大会に参加してください。

この遵守事項を守れない参加者・関係者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、チーム員を含め、競技の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを了承のうえ参加ください。

- ・ 大会ごとの遵守事項は主催者ホームページおよびARTホームページからご確認できます。

「感染防止に関する遵守事項」（2022.2.15 更新）

巻末参照

https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2022/02/covid19_kansentaisaku_for_entrant-1.pdf

2. 「大会入場者予定申請書」の事前提出

大会主催者が定める大会前日までに、当該大会に参加するライダー、スタッフおよびチームゲストなどの入場予定者を主催者の定めるフォームにより提出してください。

この大会入場予定者は、基本的にパドックに立ち入る人員を指します。

注意：パドックエリア内にご入場される方は、チームおよびチーム関係者に関わらず、全員申請書の提出が必要となります。

3. 「競技会参加に関する感染症防止申告書」の提出

すべての参加者（選手およびチーム関係者）は、健康状態を確認する為、大会期間（金・土・日）中「競技会参加に関する感染防止申告書」をご記入の上、大会主催者が定める方法にて提出してください。

・「体調確認書」フォームは、大会ごとに用意されております。

大会主催者指示に従い回答ください。主にWEBを通じた返答システムになります。

・大会期間中に提出された申告書は、主催者が一定期間保管の上、廃棄されます。

・体温が、37.5℃以上の方、その他、体調のすぐれない方は、事前に参加を辞退して下さい。なお、大会期間中にチーム内で発熱または体調のすぐれない方が発生した場合は、濃厚接触者としてチーム全体でそれ以降の競技会参加をお断りする場合もあるのでご注意ください。

注意：パドックエリア内にご入場される方は、チームおよびチーム関係者に関わらず、全員申請書の提出が必要となります。

4. 検温体制

入場ゲートまたは関係者入場ゲートにて、参加者、関係者などの体温測定が実施されます。

その際に、体温が37.5℃以上の方や体調のすぐれない方は、会場内への入場できません。

あわせて同一チームおよび関係者を含めて濃厚接触者として判断された場合は、それ以降の競技参加および会場への入場をお断りします。

5. 感染症防止対策担当者の選任

全日本選手権の年間エントリーチームは、チーム員の中から感染症防止対策者を1名から選任し、担当者は以下の感染症防止業務を遂行していただきます。

- ① チーム員のマスク着用指導
- ② チーム内のアルコール消毒液等の配置と管理
- ③ 大会期間中の「競技会参加に関する感染防止申告書」提出管理
- ④ 「感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項」の遂行と管理

特に、パドック、ピットにおける三密の回避 会場内外における遵守事項に沿った行動

- ⑤ 食事や宿泊施設等における感染対策の管理

6. 公式通知／公式リザルトの発行

接触機会を減らす為、公式通知やリザルトは最低一カ所の掲示板への掲出の他は原則的にオンライン方式によって公示し、コピーの配布は行いません。

WowTalkやQRコード等の読み込みで配信する方法や専用WEBページへの掲載など方法がありますので、大会ごとにご確認するとともに、WEB環境を準備してください。

・印刷物が必要な場合は、個々でプリンターを用意し印刷を行ってください。

6. 車検 装備品および音量測定・重量測定に関する簡素化検査について

・装備

車検を短時間で行う為、装備品（ヘルメット・レーシングウエア、エアバック式プロテクション、脊柱プロテクション、チェストガード、グローブ、ブーツ）については、国内競技規則書の装備に係わる規定に適合していることを誓約する書類を参加者から提出いただくことで持ち込み検査を省略します。誓約書は各大会の参加受理書同封または大会HPからのダウンロード等で入手し、提出ください。

ただし、装備品のヘルメット、チェストガード、脊柱プロテクションのみ大会毎に指定されたクラスについては、検査を車検場にて行います。

また、装備品のランダムチェックまたはレース終了時の検査において違反が立証された場合は、罰則の対象となります。

・音量測定と重量測定の任意測定計測

音量測定値および車両重量（GP3・JP250クラス車両＋完全装備のライダー重量）が国内競技規則に定められている各クラスの各規定に適合していることを条件に検査を簡略することができる。

ただし、ランダムチェックまたはレース終了時の検査において違反が立証された場合は、罰則の対象となります。

7. ブリーフィングの運営

ブリーフィングは、ブリーフィングルームにて選手を招集して行う場合は、三密環境を緩和するため、換気の良い条件のもと少人数制、短時間で行います。また、オンライン形式、動画配信方式でブリーフィングを行う場合もあります。

8. パドック・ピットの三密緩和対策

パドック内の人員制限を行います。

競技会には、チームメンバー、レーシングサービス等社を含め、最小人員で参加ください。

ピット内では、他チームのピットへの往来やピット内でのメンバー間のソーシャルディスタンスの確保など対策を行ってください。

9. ピットウォークの運営について

ピットウォークは人員を制限して開催を予定しています。

ただし、大会時の状況等により、実施しない場合もあります。

●開催時には、以下の対策を予定しています。

- ①ピットウォーク参加数限定。参加者は、感染症防止対策（マスク、シールド着用等）
- ②エントラント（ライダー、スタッフ、キャンギャル）と観客のソーシャルディスタンスを確保
- ③選手サイン会、選手との写真撮影など対面で近接するイベントを行わない。

④チラシ、ステッカー、販促品等の手渡し配布や固定配布場所の受け取りなど禁止

●チーム・関係者の対応

①ライダー、スタッフ、キャンギャルの感染予防対策（マスク、シールド着用）

②チーム・関係者の観客側のピットウォーク参加および観客側エリアへの立ち入りは認められません。

※各大会の事務局の指示に従ってご協力をお願い致します。

10. スターティンググリッド

スターティンググリッドには、グリッドに立ち入りの資格を有するバスの所持者のみ立ち入ることができる。

また、ライダーを除く全員がマスク、シールド着用等による感染症防止対策を施していなければならない。

【立ち入りが許可される者】

- ① ライダーとそのクルー 5名以内（入場を許可されたバスを有するもの）
- ② サービス関連（レーシングサービスなど）
- ③ チームキャンペーンガール
- ④ 競技運営者（オフィシャル）

11. 暫定表彰式

- ・暫定表彰式は、表彰対象者（1位～3位）とチーム監督、プレゼンター、レースクイーンのみ登壇とする。登壇者はすべてマスク、シールドの感染症予防対策が施されていないといけない。
- ・表彰台の前および周りには、チームスタッフ・レーシングサービス等の関係者、観客は立ち入ることはできない。
- ・表彰台で着用するマスクには、大会およびシリーズスポンサー、ワンメイクタイヤサプライヤー企業と競合するスポンサー名、商品名表示および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる表示などは、認められない。

以上

< 巻末 >

感染症防止に関する競技会参加時の遵守事項

新型コロナウイルスの感染症防止の観点から、競技会参加者および関係者は以下の事項を遵守し、参加ください。会場または移動時の密集を緩和するため、各チームとも必要最小限の人員でお願いします。

参加者（選手およびチームクルー）・関係者が遵守すべき事項

- ☐ 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・ **コロナウイルス感染し、治療、退院から 14 日間以内の者。**
有症状の中等症Ⅱ度以上（酸素吸入を必要とする）および人工呼吸を実施した重症の場合で、治療、退院後 2 ヶ月経過していないもの。

競技会の開催に当たっては、国の改正基本的対処方針、専門家会議提言、日本スポーツ協会の方針に準拠する。

- ☐ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
 - ☐ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - ☐ イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
 - ☐ イベントの前後のミーティングや食事等においても、三つの密を避けること
 - ☐ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
 - ☐ 十分な距離の確保
 - ・感染予防の観点からは、周囲の人となるべく 2 m の距離を空けること。
 - ・周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話はひかえめにする
 - ・競技直後は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - ☐ スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。 タオルの共用はしないこと
 - ☐ 不要な立ち入り、移動（ピット間の往来、スターティンググリッド立ち入り）を控える
 - ☐ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話はひかえめにする
 - ☐ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと
 - ☐ ピット・パドックテント・トランスポーター内で作業する場合
 - ・密閉状態にせず、マスクの着用を徹底。できるだけ同時の活動人数を少なくする。
 - ・接触者を自チーム内に留めるため、他のチームエリアへの往来を控える。
- （競技役員、レーシングサービス等、業務上複数チームのエリアへの立ち入りが必要な者はこの限りではない。）
- ☐ 選手以外のチームスタッフ、関係者数は必要最小限とする。